

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機設計及び工事計画）【215】
2. 日時：令和4年6月27日 13時30分～15時30分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

植木主任安全審査官、大野主任安全審査官、服部安全審査専門職、山浦
技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

堀野技術参与

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他7名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 担当※

電源開発株式会社

原子力技術部 設備技術室 課長代理 他1名※

5. 要旨

(1) 中国電力株式会社から、島根原子力発電所2号機の設計及び工事の計画認可申請書のうち、耐震性に関する説明書（差圧検出・ほう酸水注入系配管（ティーよりN11ノズルまでの外管）の耐震性についての計算書等）について、令和4年4月12日及び6月21日の提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【差圧検出・ほう酸水注入系配管（ティーよりN11ノズルまでの外管）の耐震性についての計算書】

- 差圧検出・ほう酸水注入系配管の解析モデルについて、モデル化範囲の対象外としている接続配管による影響を詳細に説明すること。
- 接続配管の解析モデルにおいて、ティー部の上部より接続する配管の解析モデル上の扱いを説明すること。

【原子炉圧力容器の耐震性についての計算書】

- ブラケット類の応力評価について、一次＋二次応力評価を省略することに関する考え方を説明すること。

○ ブラケット類の疲労評価の要否に関する評価について、2点間の温度差 ΔT を評価する場合の、2点間の距離を説明すること。

(3) 中国電力株式会社から、本日説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

なし